

シンポジウム：「ネグレクト社会」を変える 1

大阪二児置き去り死事件から考える支援

「助けて」と言えていれば、今頃は手厚く保護されていた大阪二児置き去り死事件の母子。事件当時若干23歳だった母親は30年の刑に服しているが、母親のみを罰することで解決する問題ではない。児童虐待の相談対応件数は増加の一途をたどり、平成2年から1.6倍の6万6千件に、また、子どもを抱えるひとり親単独世帯は平成に入って倍増し、100万世帯に上る勢いとなっている。

子育てに困難を抱える親たちと発達の偏りなど育てにくいと感じる子どもたちの育ちをどう支えるのか。その背景にあるのは母性神話とさまざまな貧困の現実と希薄な人間関係、そして密室での暴力だ。経済的貧困だけでなく、情報や人間関係の貧困の実態を知り、また、加害者の更生プログラムもない今の社会の危険性を感じ、次世代社会のために私たちができることは何かを考えたい。そしてますます孤立し、途方に暮れる親子を取り巻くネグレクト社会を変えるアクションをおこそう。

日時：1月26日(日) 13:30～16:30

場所：リーブラホール (JR線「田町駅」下車徒歩2分)

<http://www.minatolibra.jp/etc/access.html>

定員：100名

参加費：2000円

託児：人数と年齢に制限があるため、年齢性別をお知らせください

内容：

1部 報告 (13:30～14:10)

24年度 DV被害者支援のための同行支援事業報告

白井千晶氏 (早稲田大学講師)

2部 シンポジウム

基調講演 (14:10～14:50)

「大阪二児置き去り死事件」の取材からみてきたこと

杉山春氏 (フリーライター 「ルポ虐待」著者)

パネルディスカッション (15:00～16:15)

コーディネーター 信田さよ子氏 (原宿カウンセリングセンター 所長)

杉山春氏

ほか交渉中

まとめ (16:15～16:30)

*交流会 17:30～ (参加費3000円) 場所：JR田町駅近辺

[申込フォーム] <http://goo.gl/y30XcP> 下記のメールでもOKです

[問合せ先] advocatetokyo@gmail.com または、電話 080-4599-9561 まで

主催：一般社団法人ウエルク・NPO法人ヒューマンサービスセンター

連携団体：NPO法人全国女性シェルターネット、NPO法人女性ネット Saya-Saya、多摩でDVを考える会、シェルターボプリ、シェルターたいむ、NPO法人FTCアドボカシーセンター、デートDVせたがやネットワーク、NPO法人コミュニティネットワーク・ウェブ、ウェラワラー、AWS、NPO法人レジリエンス、NPO法人男女平等参画みなど、矯風会ステップハウス

協力団体：ママリングス、認定NPO法人CAPNA、日本子どもの虐待防止民間ネットワーク、一般社団法人次世代社会研究機構、NPO法人タイガーマスク基金

*この事業は、公益財団法人JKAから一部補助を受けて実施しています。



“政策の谷間で、
不可視にされてきたことこそ、
最も危険であり、
それこそ、
注目されるべきだ。”
信田さよ子